

# 1. 調査報告概要表

平成21年 2月6日

## 【評価実施概要】

事業所番号	( 評価機関で記入 ) 3 4 7 0 5 0 2 1 3 3
法人名	社会福祉法人 天寿会
事業所名	グループホーム 楽々八景山
所在地	広島県呉市焼山町字内田623 (電話) 082330 - 3578
評価機関名	NPO法人医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4 - 46 - 9
訪問調査日	平成21年2月8日

## 【情報提供票より】(21年1月8日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成18年3月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤7名	常勤換算7名

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り
	2 階建ての2階部 階 ~ 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	45,000 円	その他の経費(月額)	1日 680 円
敷 金	有( ) 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( ) 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / (無)
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または 1日当たり 1,250 円		

### (4) 利用者の概要( 月 日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	3 名	要介護2	3 名		
要介護3	1 名	要介護4	1 名		
要介護5	1 名	要支援2	名		
年齢	平均 84,5 歳	最低	73 歳	最高	90 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	脇田医院(内科・外科・整形外科)・田口歯科医院・訪問看護ステーション「ひかり」
---------	---

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

山や畑に囲まれ、四季おりおりの樹木や花が植えられた敷地内に、特別養護老人ホーム、デューサービスセンター、グループホーム楽々八景山があり、事業者はより良い福祉のあり方を目指して、入居者が今までの暮らしと変わらない家庭的な生活ができるようにと開設された。特別養護老人ホームの経験者である職員が中心となり、愛情と笑顔を絶やさず共に尊敬しあえる暮らしを保つように理念が共有されている。入居者は穏やかな表情で、広いリビングで過ごされており、職員はホームに来れば楽しく、働き易い職場であり、入居者と職員の笑顔でふれあう姿がありました。これからもこの質の高いケアサービスに取り組みを期待します。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	全職員で改善点について取り組み、毎月職員全員によるミーティングでは理念を実践するための日々の取組みについて話し合いがされている。意見を出し合い見直す機会になっている
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者、職員は毎年自己評価に取り組む中で、日々の場面でどうなのか振り返り、確認しあって、個人の目標、全体の目標を自己評価に取り込まれている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	2ヶ月に1回の運営推進会議は、家族、市の職員、包括支援センターの職員、民生委員さんの出席があり、ホームの現状や、行事報告などホーム側からの報告が多い中で意見を聞き、ホームの向上に生かされるように取り組まれている。今後も意見の交換がされ、内容が充実されることを期待します。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	毎月、利用料を持参された時、新聞やこずかい帳など渡され、日ごろの状況を伝えられ、相談や要望を気軽に話してもらえるように、職員は対応されている。その都度アンケート用紙(匿名)に意見を書かれており、意見や苦情はその都度対応されている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	毎日の買い物や散歩の際、地域の方と挨拶を交わし声をかけられている。自治会の協力で盆踊り大会、ソーメン流しに参加されている。保育園、小学生の訪問、中学生の体験学習も受けられて、入居者と子供さんとの交流は楽しいふれあいである。管理者は地域で講演をされ、真の福祉を目指して、社会の現状を話されてアドバイザーとして地域との交流をされている。

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	開設から3年、全職員で作られた理念を実践を通して引き継がれている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日唱和し、入居者本位の理念を常に心に置き、日々取り組まれている。		
2. 地域との支えあい					
		地域とのつきあい			
3	5	事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	外出のときの挨拶を通して地域の方と交流されている。地域の行事にはその都度参加されている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
		評価の意義の理解と活用			
4	7	運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員全員が評価を理解し、確認しあって振り返り、見直す機会にもなっている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	出席者の方にホームを理解してもらえるように状況を報告し外部の方の意見を聞き、質の向上に活かされている		

グループホーム 楽々八景山

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所には事業所との関係づくりを積極的にされ、特に介護保険課とは連携が図られている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月利用料の支払に來られた時、金銭ノートや新聞などを渡し、日々の報告をされる。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年1回事業所独自の家族アンケート調査を行い、できるだけ家族の意見を聞き、十分に話し合い家族の要望をケアプランに反映されている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	家庭の事情での退職者はあるが異動はない。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所外の研修にはなるべく多く参加されるようにされ、その都度伝達報告がされている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	個人的な接点はあり、交流されているが、地域のグループホームでの交流はされていない。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前の見学や、家族との話し合いをされ、安心した生活が送れるよう十分に配慮され、信頼関係をつくられている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>職員と入居者の会話は和気あいあいとした場面がみられた。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々のかかわりの中で、言葉、表情からくみ取るようにし、生活歴を参考に取り組まれている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>毎月のミーティングで入居者、家族の思いや状況を把握して職員は話しあい、介護計画が立てられている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>日々の状況に応じ入居者、家族の意見、職員、看護師、医師など関係者の意見を取り入れ介護計画の見直しをされる。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者の生活に必要な介護に徹することをされている。特別養護老人ホーム、デーサービスのイベントにも参加されている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医、訪問看護ステーションの月2回の受診を受けられている。体調の変化があれば通院の支援など医療体制はその都度うけられる。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居者の状況により重度化された場合家族、医師、看護師、職員はどんな支援が必要か家族と話し合い、要望に添えるよう支援される。		医師の指示により24時間点滴は可能であり、医療機関との連携を十分に行うことが必要である。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	共に尊重し、言葉使いには気をつけて尊敬し合えるよう対応される。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の暮らしのなかで、一人ひとりのその時の気持ちや、体調にあつた過ごし方を、自然体で支援されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日食材を買いにでかけ、入居者の好みを聞き、食べたい物をできるだけ選び、食材で季節を感じ、旬の食材を取り入れた献立がつけられている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者の体調、気分に合わせた入浴支援がされる。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	家族から生活歴を聞き、日々の生活のなかで入居者の好きなことをその日の体調に合わせて支援されている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の気分や、希望にあわせて散歩、買い物に出かけている。暖かい日は畑の草取りが気分転換にもなっている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵はかけない見守りのケアが徹底されている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を年2回実施されている。その都度問題点をさぐり次回への対策を考えて全員で話し合い実践訓練が行われている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量、食事は一人ひとりの状態を把握し、記録されている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広いベランダには椅子が置かれ、花が植えられてリビングにはソファ、テーブル、椅子が置かれ入居者は一人ひとりで過ごされたり、仲間であそんだり、日中ほとんどりビングで過ごされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	広い居室には使い慣れた家具や、仏壇が置かれ、馴染みの物を活かして、居心地のよい居室に配慮されている。		